

△フィアスプ注フレックスタッチ [注]

【重要度】 【一般製剤名】インスリン アスパルト（遺伝子組換え） Insulin Aspart（Genetical Recombination） 【分類】インスリン製剤 [超速効型]

【単位】△100 単位/mL（3mL）

【常用量】

■血糖値に応じて用量設定

■通常は、食事開始時（食事開始前の2分以内）に投与

■食事開始後の投与の場合は、食事開始から20分以内に投与

【用法】皮下注

【透析患者への投与方法】血糖値に応じて投与（5）

【保存期 CKD 患者への投与方法】血糖値に応じて投与（5）

【特徴】インスリンアスパルトにニコチン酸アミドを添加して、インスリンの初期吸収を速めた製剤

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】バイアル製剤でCSIIとするとゲル化する可能性がある（2022年）

【吸収】ノボラピッド注に比べてインスリンのAUC 0分から15分、30分、60分値が有意に高値（1）

【tmax】平均53分でノボラピッドの平均68分に比べ速い（1）

【t1/2】約50分（1）

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】5825.54

【透析性】

【O/W 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【備考】使用中：室温・遮光保存で4週間以内に使用（フレックスペンは冷蔵も可能、ペンフィルは使用中の冷蔵保管不可）。

インスリンポンプでの使用時に、温度上昇と機械的振動ストレスが加わった場合、製剤がゲル化する可能性あり、インスリンポンプ使用時には37℃を超えない、重点から6日以内に交換などの対策を指導。

【更新日】20250206

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。